

発表項目 (行事名)	国内最大のナショナルパーク誕生を契機とした 日高振興局における取組について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) ※5/31別途通知済 6月6日(木) 11:00～	発表者	日高振興局長 高見 芳彦
		発表場所	日高振興局2階 202会議室
概要	<p>令和6年5月22日(水)に開催された中央環境審議会自然環境部会(第49回)において、環境大臣から諮問された日高山脈襟裳十勝国立公園(仮称)の指定及び公園計画の決定については、適当である旨答申され、今後官報告示が行われる予定です。</p> <p>手付かずの自然と貴重な生態系が残され、陸域面積も最大となる国立公園誕生を契機とした、日高地域における当面の取組を次のとおり取りまとめましたので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>【取組の方向性】 今夏の日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定や2025年度の日高自動車道新冠IC開通を控え、日高地域の注目度が高まりつつあることから、この2年間を集中対策期間と位置づけ、国や道、各町、企業等が連携しながら、日高の魅力を世界に発信し、誘客の促進とともに、自然保護と受入環境を整備していくなど、地域活性化に資する施策を総合的に実施する。</p> <p>【具体的な取組】</p> <p>① 機運醸成 / 地域の機運を高め、国立公園化による波及効果を拡大 ・記念式典やシンポジウムの開催 ・小学生等を対象とした自然体験会 ・報道機関と連携したメディアミックス ・普及啓発資料の作成・配付 等</p> <p>② プロモーション / 多様な主体との連携・協働による積極的なPRの展開 ・イベントを活用した誘客・特産品PR(開催地:札幌、東京、大阪など) ・高校生や大学生と連携した観光ツアーの造成 等</p> <p>③ 自然保護と受入整備 / 自然や希少野生動物の保護と受入環境の充実 ・地域住民との協働による森林づくり ・登山ルールやマナーの啓発活動 ・ゼロカーボンパーク登録に向けた調整 ・ガイド不足を補う音声ARの制作 等</p> <p>※詳細は別添資料をご参照ください。</p>		
参 考			
報道(取材)に 当たっ ての お願 い	<p>国内最大となる国立公園の誕生を契機として、自然保護と利用の両立を図りながら、日高の魅力を全国に、そして世界へ発信していきたいと考えています。</p> <p>管内7町をはじめ、十勝側ともプロモーション等で連携しながら、日高・十勝両地域の活性化に資する取組を進めていく考えですので、域内の機運醸成を図るためにも、積極的な報道をお願いいたします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担 当 (連絡先)	北海道日高振興局地域創生部地域政策課 課長 井溪 雅晴(電話:0146-22-9070)		

国内最大のナショナルパーク誕生を契機とした 北海道日高振興局における取組（概要版）

— 日高から全国に、そして世界へ —

取組の方向性

2024 夏

日高山脈襟裳十勝
国立公園の指定



2025 年度内

日高自動車道の
新冠ICが開通



日高地域への注目度が上昇

- 2024-2025年度を集中対策期間として位置づけ
- 日高の魅力を世界に発信し、誘客促進、自然保護と受入環境の整備など、地域活性化に資する施策を総合的に実施

推進体制

- 国立公園の自然保護と利用が両立した世界水準のナショナルパークの実現に向けて、管内各町や企業・団体をはじめ、十勝管内の行政・団体とも連携・協働を図りながら、各施策を推進



取組内容

機運醸成

住民や企業・団体など、国立公園化による恩恵を多くの方が享受できるように、地域内の機運醸成を図る。



【想定される主な取組】

- 記念式典やシンポジウムの開催
- 管内イベントでの周知活動
- 報道機関と連携したメディアミックス
- 普及啓発資材の作成・配付（バナースタンド、のぼり、ポスター、プロモーション映像等）
- 小学生等を対象とした自然体験会
- 巡回パネル展の開催
- 各町広報誌での紹介

プロモーション

2年間を好機と捉え、様々な主体との連携・協働による積極的なプロモーションを展開する。



【想定される主な取組】

- イベントを活用した誘客・特産品PR
 - 〔 6月 北海道移住相談会2024（東京） 7月 おいでや！いなか暮らしフェア（大阪） 9月 ツーリズムEXPOジャパン（東京） 10月 北海道まるごとフェア（東京）等 〕
- 高校生と連携した観光ツアーの造成

自然保護と受入整備

誘客促進策と並行して、自然や希少野生動物の保護、周辺施設の整備などの受入環境の充実を図る。



【想定される主な取組】

- 公園内の巡視・盗掘防止合同監視
- 地域住民との協働による森林づくり
- 登山ルールやマナーの啓発活動
- ガイド不足を補うデジタルコンテンツの造成（音声AR）等
- 登山口やビジターセンター機能の整備
- 景観保全（屋外広告物条例の適正な運用）
- ゼロカーボンパーク登録に向けた調整